



骨鉄筋コンクリート造からなります。そして上層部は、建物のXY方向と45度振ったかたちで配置される井桁に組んだ鉄骨のメイントラスと、中央に出来る正方形部に配置された十文字のサブトラスが主要骨組みです。この大屋根が、構造上の特徴であり、そしてこの大屋根を掛けるのが施工段階でのメインイベントといえます。4月1日現在、下層部のコンクリートの打設中で、これからこのメインイベントを迎えます。大会後は、各種スポーツ競技大会、集会、コンサート、展示会を開催できる機能を備えた多目的施設として利用される予定で、基本方針でも謳われているように、これからの長野の新しい顔となることでしょう。

是非長野にお立ち寄りの際に現場風景（現場に向けて小窓が開いており、椅子が用意されています）を見ていただきたいと思います。
—広報部会・五十田 博

北陸の夏まつり情報

- 長岡花火大会(8/2-3)長岡市信濃川河川敷
- 新潟祭り大民謡流し(8/8)新潟市東大通・榎谷小路
- 日本海夕日コンサート(8/10)新潟市小針海岸
- アースセレブレーション/太鼓の「鼓童」を中心とした音楽祭(8.19-21)佐渡郡小木町
- まき角山山燈籠登山(8/20)西蒲原郡巻町
- 立山アルプスフェアー(7/13)立山町
- 利賀フェスティバル(7月下旬~8月上旬)利賀村
- おわら風の盆(8/20-8/30)八尾町
- 高岡野外音楽劇「越中万葉夢幻譚」(8/27-28)高岡市
- あばれ祭り(7/7-8)能都町宇出津八坂神社
- 向田の祭り(7/31)能登島町伊夜比神社
- 輪島大祭(8/24-25)輪島市内
- にわか祭り(8/24-25)能都町海瀬神社
- 八朔祭り(8/31-9/1)富来町内
- 越前竹まつり(7/3)宮崎村(越前陶芸村)
- みくに夏まつりと花火大会(8/6-11)三国町
- 星のフェスタ(8/16)名田庄村あきない館
- O・T・A・I・K・O響(ひびけ)/大太鼓「明神」を中心とした和太鼓祭典(8/20)織田町下河原
- 福井ハープフェスティバル(8/22-26)宮崎村セラミックコンベンションホール
- 辰野はたる祭り(6月下旬)辰野町
- 戸倉上山田温泉夏祭り大煙火大会(7/17-18)戸倉上山田温泉
- 第13回国宝松本城新能(8月予定)

支部インフォメーション

■北陸建築文化賞決まる

4月の支部役員会において、下記の作品・業績に対して平成5年度北陸建築文化賞を授与することが決定されました。

- 新潟地方に調和した一連の数寄屋造り 高断熱・高気密住宅作品/榑重川材木店建築部
- 大島町児童館/榑GA開発研究所
- 富山県こどもみらい館/仙田満+環境デザイン研究所
- 『養浩館(旧御泉水屋敷)庭園』庭園及び建築物の復元整備/福井市

■支部の行事予定

- 5月31日(火)13:30~支部総会・講演会・映画会等
/講演『建築と建築学—学術・技術・芸術—』(日本建築学会会長・内田祥哉)/映画『新潟地震』(新潟日報)/会場:ホテルアクアピア新潟
- 7月27日(水)午後“サンドームふくい”現地見学会・講演会/会場:鯖江市文化センター+現地
- 7月29日(金)8:45~支部大会(研究発表会・作品展示・シンポジウム・北陸建築文化賞表彰等)/会場:高岡短期大学
- 7月30日(土)9:00~見学会(高岡周辺の歴史的建造物と現代建築)/参加費4000円/申込は富山県土木部建築住宅課・滝川まで

支部長あいさつ



北陸支部役員会を終え、葉桜の金沢から花吹雪の直江津、満開の関山そして蕾の妙高高原へと時を逆かのぼった私は、再び満開の長野に戻ってまいりました。本年1月から北陸支部長を務めております笹川明(54才)です。写真のよう

に、あまり名前と一致しない顔をしておりますが、信州大学で木質系構造物に関する研究を行っています。広域に渡る北陸支部で、互いの顔が次第に判ってくるような、本誌の役割に大いに期待しております。

—支部長・笹川 明

日本建築学会北陸支部ニュース「AH!」創刊号

発行日 1994年5月20日
発行 日本建築学会北陸支部広報部会
木原 隆明(新潟) 尾久 彩子(富山)
河内 浩志(石川) 増田 達男(石川)
桜井 康宏(福井) 五十田 博(長野)
事務局 村井 義則・織田 香里
〒920 金沢市玉川町5-15
TEL 0762-20-5565 FAX 0762-60-1502



創刊号

特集

大いに語る女子学生と先輩女性



写真上: 新学期を迎えた現役女子学生。
写真下: 今年卒業の女子学生。
(いずれも金沢工業大学にて撮影)。

感嘆詞「AH!」とともに日本建築学会北陸支部の支部ニュース創刊号をお届けいたします。何のことはない、ただ「AIJ」の「A」と「HOKURIKU」の「H」を組み合わせたのですが、辞書によれば、「喜び・悲しみ・驚き・苦痛・軽蔑・哀れみ・嘆きなどを表す発声」とあります。学術情報誌ではなく人間情報誌をめざす本誌のネーミングとしてはこれに勝るものなし、というのが我々広報部会の一致するところ。「支部ニュースの意義は何か」などという能書きよりも「まずは継続」という使命のもと、初年度は「女性と建築」をメインテーマとして、年間3~4号の発行をめざして頑張る予定です。「支所だより」等への新ネタ投稿を大いに歓迎いたします。



大いに語る女子学生と先輩女性

広報：今日は、この広報の第1回目の企画で、女子学生を中心に座談会を進めさせていただきます。ところで、私のいる石川高専では40人クラスがありまして、今、実に30人が女性なんですよ。

先輩：私も、高専の教師ですが、女子学生が増えて、学校の中が右往左往しているんです。一番困ったというのは就職先の問題なんです。学校の問題というのではなくて、社会の問題です。女子学生はCADを使えるということを売物にして売り出す。女子学生だからなぜCADなんだ、というのが私の素朴な疑問なんです。

女子学生の就職観と大学生活

先輩：まず、卒業される皆さんが就職をどんな風に考えておられるのかお聞きしたいと思うのですが……。

学生：内装といったことに憧れて建築学科に入ったんですけども、3年間やってきて、施工というか、**そこそ男の人の中で、外で働きたい**という風に思っているんです。細かいことがいろいろあるかもしれませんが、自分でも甘えず、外の現場で働きたいと今は思っています。

学生：私は会社を辞めて大学に入り直し、職業として、手に職をつけたくて建築学科に入りました。現在は、高齢者の住宅というか、高齢者が増えていく中でいろいろ工夫していける分野があると思うので、そういうことをやってみたいと思っています。

学生：私は進学することになっています。女としてとか男としてとか、そういうことを考えずに、一人の人間として自立していくということを考えながら、もう少し頑張りたいな、という風に思っています。

広報：ところで、結婚してもずっと仕事を続けていきたいと思っている方、ちょっと手を挙げてください。

先輩：もしここに男子学生がいた場合にも、そういう質



問をされますか。

先輩：別に女だからってこだわるわけじゃないんですが、私も子どもを産みましたから辞めたくなくなっただけです。それでも働きたいという気持ちが強かったから働いたんですけれども。たぶん私も最初こんな質問をするんだと思うんですよ。でも、別に身構える必要もないし、そういう機会があれば結婚すればいいし、自然に任せればいいんじゃないかと思うんです。

広報：もう一つ学生諸君に聞きたいのは、「大学での勉強が楽しいですか？」みたいなことですが……。

学生：私は2年から編入しましたが、楽しいの一言でした。入った時に自分の中にくすぶっていたものがあつたせいかもしれませんが、聞く物、見る物、全て面白くなって楽しくって仕方がないという感じでした。

学生：入る前はインテリアとか照明器具ならそれだけみたいな感じで、部分的なことだったんですね。それで入ったら、もう建物の周りの環境や、大きなものを学ぶことができましたので、そこまではいきませんが、インテリアの中から住宅までを考えてみたいと思っています。

学生：いろいろ授業がありますが、一つの分野からどんどん視野を広げていって何かをつかまえることが建築だと思っています。**結婚した時に本当に仕事を続けられるかな**とか、家庭のことも考えたりしましたが、自分でも出来ることというか、資格とか技術を身につけて、女性が本当に一人で自分の力でもやっていけるような……。

先輩：建築って、結婚して子ども産んでっていう時代を経て、幅が広がって奥が深くなって、それをどんどん生かせる仕事の一つだと思うんですよ……。私が学生さん達に聞きたいなと思っていたのは、設計事務所に入ったからといって「お茶くみ」をしなくていい



先輩・佐藤真奈美さん
(石川高専)



先輩・長谷川泰子さん
(シグマデザイン建築設計事務所)



先輩・田尻純江さん
(七尾市市街地再開発室)



学生・加藤美紀さん
(金沢工大)

いとか、そういうことはないわけで、そういうものが目の前に出てきた時に素直に受け入れられるかどうかとか……。

学生：私は「お茶くみ」だけではないですけど、自分の専門のこういう仕事があって、かつ「お茶を出す」というのは抵抗ないです。男の人がいやいやというよりは、自分が入れた方が波が立たないと思うし、私はやりたいと思います。

女性は不利か？

学生：一般的に「女性は不利だ」と言われてますよね。会社の案内だとかも、同じように出しても、男の人には早く来るとか……。実際、「**女の人を採りたくない**」という理由は、年齢的なものもあるのかどうか、本当のところはどうなのかというのが疑問なんです。

先輩：女性はリスクが大きい。男性なら結婚したからといって辞めない、というより、辞めざるを得ない状況にならないんですよ。ところが女性の場合、やっぱり社会的要因があって100%いくとは限らないですよ。民間企業は営利追求型の企業ですから、これまでの統計的な値を見てそう判断するんです。公務員も一緒です。それは、その人の能力のあるなしではなくて、女に生まれたということでもう既に……。

学生：会社としては、育てようと思ったこれからという時に女の人に辞められて……ということがあってしょうが、**会社に戻ってこれる環境を作ってほしい**と思うんですけども。

先輩：社内保育所作ったら絶対大丈夫ですよ。だんなを選ぶのはその本人ですから、「**仕事をやめろ**」などという男を選ばなきゃいいんです。ただ、子どもはどう

しようありません。まず0才児を預かってくれる公的施設がない。会社の中に保育所一つ作ってください。そうしたら絶対辞めません。

先輩：男女雇用機会均等法っていうのは、社会ではそういう風が吹いていますけど、家庭では吹いていないんですよ。男性は家庭の仕事を奥さんに任せて、一人分だけ仕事しているんですよ。女性は二人分しなきゃいけない。職場で保育園をさせていただければ、迎えの心配もなしに仕事をキチッとできると思います。

個性とやる気と頑張り

学生：もし今働いている職場に女子学生が働こうとして入ってきた場合、どういうイメージをもって見ていこうと思いますか。

先輩：個人差があるから、男性だから何でも出来るとかではなくて、出来る人は出来るんですよ。意欲のある人は……。くだらないことでも、やるのとやらないのとじゃ違うんです。「お茶くみ」も大事です。そういうことを平等にやる職場づくりを自分もやらないと……。「私はこれだけの仕事」というんじゃないで、人の仕事を取ってでもするように意欲的にやると、何でもできるようになるし、先が楽しくなるんじゃないかと思うんです。

先輩：**女性は、もう最初の上司、最初の部署で一生の大半は決まってしまう**んじゃないかな、というのが私自身の経験で有ります。

先輩：私もそんな経験あります。私、一度だけ設計事務所を変ったんですよ。前の所長さんには「女の子は腰掛けで将来は家庭に入っていい奥さんになれ」みた

わたしたちは次の世代に何を手渡せるのでしょうか。



感動を形に
MORIYA

本社/長野市南千歳1-3-7
支店/東京・松本・新潟 株式会社守谷商会

平成6年度募集団地

●お申し込み・お問い合わせは

 **富山県住宅供給公社**

富山市舟橋北町4-19 (富山県森林水産会館内2階)

☎(0764)32-5131

●住宅情報 (建売住宅)

☆ 富山市月岡西緑町/10月予定 (15戸)

☆ 大門町上条団地/10月予定 (15戸)

☆ 上市町森尻団地/7月予定 (5戸)

●注文住宅方式による一般分譲住宅

団地名	募集戸数	宅地面積
富山市月岡西緑町	60戸	263.85㎡~462.56㎡
上市町森尻	37戸	317.97㎡~395.12㎡
大門町上条	42戸	259.18㎡~420.00㎡



学生・青野文江さん
(金沢工大)



学生・中西麻理さん
(金沢工大)



学生・金谷正代さん
(石川高専)



学生・松田佳子さん
(石川高専)

いなのが根底にあったみたいで、次に変わった所長さんは全然違っていたんですね。それぞれが物件を担当するようなシステムになって……。12時になるような打ち合わせが何回か続いて、現場へも自分がヘルメットをかぶって、トラブルがあっても対応して……。結構苦しかったですけど、やっぱり所長なり上司の考え方で全然違うなっていうのは体験しました。

広報：ところで、最近の建築学科の学生気質はどうですか。他の学科と違うところがありますか。

学生：やっぱり個性が強いと私は自分で思います。例えば、学園祭でも一部の人だけかもしれませんが盛り上がったたり、興味ある建築を見に車で出かけたり。

学生：頑固な人が多いなという気はします。ただ、もっとはめをはずしちゃうのもいいんじゃないかなと思いますが……。

学生：建築に限って言いますと、一点こだわり主義みたいな。私は外から入ってきてとっても驚きましたし、変わった特徴だなんていう感じもしました。

学生：建築学科はやっぱりアートっていうのが含まれていることもあって、個性豊かな人は多いと思います。他の学科と比べれば、かなり目立つところがあるんじゃないかと思っています。また、文化祭やなんかでも賞をもらったりして誇れるものがあると思います。

学生：製図も上の学年が下の学年のエスキースをみたり、それが他の学科と違う縦関係というか、結構いい関係だと……。

先輩：卒業して同窓会やっても、話題が一つで和やかというか、いつまで経っても友達でいられるのがいいなって思います。

広報：いろいろ話題が出ましたが、少なくとも設計やっている我々の部門では能力主義だということですね。男であろうが女であろうが……。また、女性のもっている感性を日本建築の中に取り入れていかなければならないとも思っています。ですから、自信をもってやっていただきたいし、それなりに自分を売り込んで、ということをしていけば活躍の場はあると思います。

広報：時代の大きな転換期といわれる世の中ですから、「自分を採らないところはダメなところ」という位に思った方がいいと思うんですね。女性を生かす職場を自分でつくる位の自信をもっていただきたいと思ます。

先輩：女であろうと誰であろうと人間同士の心と心ですから、仕事のことであれば言葉をきちっとつなげれば、どんな難しいことでも大丈夫なんじゃないかと思っています。ですから、やりたいことがあったら、自分の意志を貫いてやっていただければ、いい人生が送れるんじゃないかと思っています。

先輩：確かにそうですが、キャリアアップして動いていくのも一つの人生だけど、地に足つけてやっていった人達の力が次の人達の宝なんですよ。利益はこれから20年後の人達が得られる位のつもりでやってほしい。

先輩：石川県には建築士会女性部会というのがあって、今年で7年目です。私達がいろいろ言われるようでは後輩の就職にひびきます。それは皆自覚して一生懸命頑張っているんですよ。何も努力しないで認めてもらえるはずは全くないんです。女性のそういう組織もそれなりに頑張っていますので、後に続いていただきたいなと思っています。(1994年2月9日収録)

スノープールバーをもつ樋口さん宅

新潟県内でも有数の豪雪地として知られる十日町市の市役所にお勤めの樋口利明さんの自宅は、「利雪・利水の家」として県内外から注目を集めています。

屋根に積もった雪を自然落下で5メートル四方、深さ5メートルの貯雪槽に落とし、断熱シートで覆い夏まで保存。貯雪槽の下には井戸を造り、融雪水と混ぜて水洗トイレや冷房用水に使っている。また、保存中の雪塊を春から夏、いろいろな日常行事、例えば運動会や海水浴、ドライブやお盆に役立てている。夏に「海の家」の向こうを張って「雪の家」と称し、貯雪槽内での面白おかしい飲み会もやってみた。最近「スノープールバー」と名前も少し洒落て定着しつつある(写真)。

樋口さんの職場は克雪都市計画課で、特に雪のことを考えたまちづくりをしようとのことで付けられた名前とのこと。個人的には雪は克服する相手としてとらえるのではなく、利用する相手、楽しむ相手として雪と向かい合いたいとの言葉が印象に残る。

その思いを凝縮して樋口さんは『セッスイ・ライフ』を提唱しておられる。豪雪地に住む私たちこそは、雪と水(セッスイと読める)を生命あるもののように見なして付き合い、雪と水は私たち自らの生命の源であることを肝に命じて、節水し、雪に酔えるような瑞々(水々)しい生活をつくりだし、雪によって粹な人生を送れないものだろうか……と。

—広報部会・木原隆明



ダウンサイジングの提案

先日、世界最小、最軽量のコンパクトカメラを手に入れた。28mmレンズでオートフォーカス機能付き、建築写真を撮るにはなかなかの優れものである。コートのポケットに入れておけば、いつでもどこでも思いのままの記録写真が残せる。今まで、気に止めなかった風景や建築、そしてディテールが急に新鮮に見えてくる。だから歩きたくなる、車の外に出たくなる。機械のダウンサイジングは、単に使い易く機能が良くなるというだけでなく、人間のライフスタイルに影響を与えていることを痛感させられた。バッグに入るカセットデッキ、ウォークマン、デスクトップからラップトップになったコンピューター、歩きながら電話ができるコードレスホン、等などは、新しい生活文化を創造しているといっても過言ではないであろう。

では、生活文化を研究している建築世界ではどうだろうか。バブルがはじけたからといって、建築のダウンサイジングの研究発表を見たことがない。ところが、バブルのずっと前に、建築家はすでに、この現象を予期していた?。東孝光「塔の家」、清家清「自邸」、菊竹清訓「スカイハウス」等々、いずれも十分にダウンサイジングされた住宅である。これらの住宅からは、現代建築にはないはっきりとした生活提案を読み取ることができる。

私も「ダウンサイジング」の潮流に乗ってみようと思っている。これは、もしかすると閉塞状態の建築観を解きほぐす「妙手」になるかも知れない。

—建築科学研究所・原 英高



 清水建設 株式会社

北陸支店長 佐藤 幹郎
北陸支店/金沢市玉川町5番15号 TEL.0762(20)5555

まちの輝き見つけます

 サンワコン



三和測量建設株式会社
本社/910 福井市花堂北1丁目7番25号
TEL.0776-36-2790 FAX.0776-36-3300

カラーコピーと手軽な印刷

 カドカ文具店

プリンティング・ルーム・カドヤ/大学前コピーセンター
福井市文京4-4-22 〒910 TEL.0776-22-7731 FAX.22-7873

 大成建設株式会社
北信越支店

〒950 新潟市八千代1-4-16
取締役支店長 池田 忠雄

北陸に適した熱的高性能住宅



「さあこれから家を新築するぞ！」という人は、誰もダニ・カビ・結露が無く冬に暖かで夏も涼しい、いわゆる健康快適住宅の実現を望んでいると思われる。

しかし、住宅の建設費が米国などに比較して割高で、家族構成の

変化に応じた住み替えもあまり行われないうわが国では、「住宅は一生もの」という意識が強く、それまでに自分が抱いていた「我が家」に対する夢を全て実現させようと努力を傾注し、リビングルームの広さ、床の間付きの和室のしつらえ、システムキッチンを選択など、「目に見える」部分の設計やデザインに囚われて、「目に見えない」部分への配慮が希薄となる例が多いように思われる。厨房には非常にお金がかかっているのに、窓は単板ガラスで、開放型ストーブを使用しているといった非常に奇妙な住まいが、そのことを物語っている。

長く快適に住まうためには、住宅の熱的な高性能こそが住宅の有すべき基本的な条件として求められているのであって、他の条件は付随的と割り切る位の考え方の転換が今や必要と考えられる。

温熱環境調査で立派な外観のお宅にお伺いしても、住宅内を案内して下さる奥様が「寒い、寒い」と呪文（まさに呪いの言葉か！）のように繰り返しながら廊下を先導される姿は、現状否定そのものであろう。「北陸に適した熱的高性能住宅」が求められる所以である。（写真：住宅の気密性能測定風景）

—金沢工業大学・垂水弘夫

メーヤー島



ニュージーランドのブレンディ湾沖40キロにある周囲18キロの小島。大物釣りのメッカとして世界の釣師あこがれの海域である。日本では到底無理な、120センチ級のヒラマサの強烈なファイトを誰でも楽しめる。島の沖合2

キロは釣人だけに制限され、その周囲4分の1は禁漁区として保護されている。獲物の寸法制限と違反者に対する罰金も厳しく設けられている。

島の宿泊施設は、亜熱帯の大木の中に点在する平家建の簡素な建物である。バーのあるゲストルーム、キッチンハウス、ロッジ群、キャンプ施設等。日中は電気を使わず窓や天窓からの自然採光、飲料水は屋根の雨水、雑給水は砂浜の浅井戸、内装は全て塗装仕上、調理室の床だけ塩ビシートを貼る、トイレは全て水洗など、沖合の島にあってもコストのかけ方や日常生活の感覚に文化の違いを感じさせる。

目の前には美しいビーチと入江の湾が広がる。夕方になるとヨットやクルーザーが停泊するためにやってくる。棧橋がないので来島者は手こぎのボートで、足元を濡らしながら砂浜に降り立つ。多少不便でも質素でリーズナブル、自然の恵みを大切に、余分には求めない。バブルで多くのリゾートが挫折している現在、発想の転換は出来ないのか。世界の各地で地球破壊が進むなか、いつまでもこのままでありたい小島である。

—榎熊谷組・米澤孝明

「ア・ラ小布施」

小布施町は、長野県北信濃に位置する、四方を千曲川など3つの川と1つの山に囲まれた町民12,000人、半径2kmという小さな町です。これまで、りんご、栗、北斎、町並修景、花などをキーワードに町づくりを進めてきました。

そんな小布施町にいま新しい風が吹こうとしています。それは第3セクター「株式会社ア・ラ小布施」によるものです。「ア・ラ」とは伝説で〇〇風、〇〇流との意味です。ここでは、行政、民間がお互い協力し合い、それぞれの長所を生かして、地域の将来を考え営業する企業をめざしています。営業内容は特にこれといって決めているわけではなく、出来ることは何でもやります。一人でも多くの住民が「ここに住んで良かった」と幸福感を持って暮らせるような、「成熟した生活文化」を持つ町にしたい。こんな思いから、小布施流の経営哲学で、身軽にそして積極的に発信性の高い各種事業を進めていく。そんなア・ラ小布施が本年4月に活動を開始します。ア・ラ小布施の最大の特徴は、資金、労力、アイデアなど個人の資源は全て提供するが、直接的な見返りは求めない点です。一般企業における配当金に相当する収益金は、新たな企業目的にかなう発信性の事業に還元する。そして、事業活動の結果として小布施全体が向上することを一住民として楽しみに思う。（写真：小布施町の伝統行事「安市」）

—黒崎建設・黒崎紀彦



シリーズ 北陸の酒 ~花・華・女~

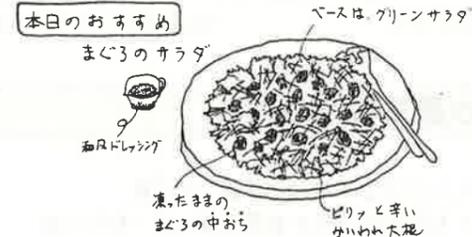
満開の桜の下、旨い肴を持ち寄り、女ばかりの花見宴会となった。

今日のメニューはサラダづくし。菜の花サラダに法蓮草のサラダ、ちょっとグルメのまぐろのサラダ。どれも自慢の逸品だけあって味もよし、春らしい盛りつけも二重丸といったところか。

こんな軽い料理にもワイン感覚で、おしゃれに楽しめるお酒が満寿泉の吟醸酒「桜花一献」。春だけの限定である。さっぱりした飲み口と、喉の奥にかすかに残る香りが、なんともすがすがしい。ワイングラスで飲むもよし、お気に入りのぐい呑みでやるもよし。もてなし方はあなた次第。

このお酒。味もさることながら器量もよしときている。物産センターの地酒コーナーの一角、厳しい面構えの吟醸酒を相手に、只一本、桜のラベルがぼっと花を咲かせている。（どこかの設計事務所に似ているのでは？）。それに、このボトルなら酒盛りの輪の中に2〜3本転がっていても、少しもオヤジ臭くならないのが良い。はながまばらなさびしい宴会に、是非お試しあれ。

—彩子



シリーズ ~隠れた建築紹介~

つい先日までリレハンメルで行われていた冬季五輪が閉会しました。さてつぎは？といえば長野です。白馬のジャンプ台などすでに建設されたものもありますが、主な建物はこれから、これからが五輪建設ラッシュです。そこで、信州大学工学部のすぐ近くに現在建設中のアイスホッケーA会場を紹介することとします。

アイスホッケーA会場は、長野市内に建設される会場としては、その第1号にあたります。構造は、ホワイエや関係諸室を収容する下層部と、大空間となるメインアリーナを覆う大屋根架構の2つに大別されます。下層部は、基本的に鉄筋コンクリート造で、大屋根を受ける部分など一部鉄

in 鹿島

KAJIMA CORPORATION

専務取締役支店長 大塚 壽

北陸支店 新潟市万代1-3-4 ☎025(243)3761(代)

●グラフィックデザイン
●エディトリアルデザイン
●C1およびSP計画の立案・実施

岩田修デザイン事務所
石川県金沢市円光寺本町16番17号
〒921
TEL(0762)4912115
FAX(0762)4310698

金 沢 工 業 大 学

■工学部

機械工学科 機械システム工学科
電気工学科 電子工学科
情報工学科 経営工学科
土木工学科 建築学科

〒921 石川県金沢南局区内野々町扇が丘7-1

■大学院工学研究科博士課程（前期・後期）

機械工学専攻 電気電子工学専攻
情報工学専攻 土木工学専攻
システム設計工学専攻
材料設計工学専攻

■大学院工学研究科修士課程

経営工学専攻 建築学専攻

☎0762-48-1100